「もしも」に備えて日ごろから準備を

防災特集【風水害編】

近年、台風や大雨により全国各地で洪水や土砂災害、家屋の浸水や倒壊などの被害が多発しています。

今年の台風10号では、ホテルや旅館などへの早い段階での自主避難が多く見られましたが、台風や気候の変動が起きやすいこの時期、自分や周りの人の命を守るため、「もしも」に備えて、避難のタイミングや持ち出し品などについておさらいしましょう。

電話を使ったサービス

●防災行政無線テレホンサービス
☎54-4890
※放送終了後24時間まで確認可

●災害用伝言ダイヤル「171」
利用案内に従って伝言の録音・再生ができます。

秋田地方気象台

秋田県防災ポータルサイト

秋田県河川砂防情報システム

最新情報を確認し、災害に備えましょう

避難のタイミングを知る

台風や大雨の影響で、水害や土砂災害の発生が想定される場合、市や国、県からさまざまな情報が出されます。

そのうち、市が出す情報を避難情報、国や県が出す情報を防災気象情報として区別しています。9ページにはこれらの情報を警戒レベル別に5段階に整理した表を掲載しています。

安全・確実な避難のため、表を参考に避難のタイミングをチェックし、インターネットやテレビなどで最新の情報を確認しながら、災害に備えましょう。

避難情報って…？

災害時に**市が**発令する情報です。地域の状況に応じて出す避難勧告や避難指示、災害が実際に起きていることを把握した場合に発令する災害発生情報などがあります。

防災気象情報って…？

気象災害を防止・軽減するために**国土交通省や気象庁が**発表する警報や気象情報などの情報です。

避難場所を知る

緊急避難場所や避難所を確認しましょう

緊急避難場所や避難所は、災害時に危険から命を守るための避難場所です。

市が指定する緊急避難場所や避難所は市で作成した防災ハザードマップのほか、市ホームページにも掲載しています。あらかじめ避難のための道順を確かめて、災害に備えておきましょう。

※災害の種類によっては避難できない場所もありますので注意しましょう。場合によっては自宅避難や親せき・知人宅への避難も検討しましょう。

防災ハザードマップを活用しましょう

市で作成している防災ハザードマップには、洪水の浸水範囲と浸水の深さ、土砂災害警戒区域、指定緊急避難場所や指定避難所の位置など各種災害ごとの対策方法などを掲載しています。

総務課防災危機管理室
室長　渡辺　健

国や県、市からの防災情報をこちらから確認できます。また、市防災メールを登録すると、防災行政無線の内容を メールで確認できますので、登録していただき、早めの避難行動に役立ててください。

市ホームページ　市防災メール　国土交通省 川の防災情報

このほか公共機関やメディアなどが発信する

水害や土砂災害の際に出される5段階の情報をチェック！

能代市が出す避難情報など			国や県が出す防災気象情報
警戒レベル	とるべき避難行動など	避難情報など	警戒レベル相当情報（例）
警戒レベル5	既に災害が発生しています 命を守るための最善の行動を！	災害発生情報 ※市町村が発令	警戒レベル5相当 氾濫発生情報、大雨特別警報など
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう	避難勧告・避難指示 ※市町村が発令	警戒レベル4相当 氾濫危険情報、土砂災害警戒情報など
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人とその支援者は避難を。その他の方は避難準備を！	避難準備・高齢者等避難開始 ※市町村が発令	警戒レベル3相当 氾濫警戒情報、洪水警報、大雨警報など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう	洪水注意報 大雨注意報など ※気象庁が発表	地域の皆さんで声を掛け合いながら、安全・確実な避難を！
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報 ※気象庁が発表	

Check! チェックリストで確認！ 避難時の持ち出し品

- □ **飲料水**
  ※備蓄は1人1日3リットルを目安に

- □ **非常用食料**
  乾パン、缶詰、米、インスタント食品など
  ※備蓄は少なくとも3日分

- □ **着替えなど**
  肌着、タオル、軍手、雨具など

- □ **道具類**
  携帯ラジオ、懐中電灯、調理具、マッチ、電池、ひも、ビニール袋など

- □ **救急薬品**
  三角巾、包帯、ガーゼ、消毒薬、軟こう、整腸剤、処方箋など

- □ **貴重品**
  現金、印鑑、預金通帳、証書類など

- □ **その他**
  眼鏡、補聴器、入れ歯、おしりふき、マスクなど